1 課の運営方針

【課の使命】

熊毛地域の最も身近な市民サービス提供の最前線として、福祉や子育て、コミュニティ活動等の地域交流拠点及び災害時における市民の安心安全を確保するための防 災活動拠点としての機能を発揮します。

【課の目標】

- ① 適正な庁舎等管理の充実
 - 熊毛総合支所等の効率的かつ効果的な維持管理と併せ、予防保全へ向けた取り組みを進めることで、施設の延命化や運用コストの低減及び更新費用の平準化を図ります。
- ② 地域防災力の強化 地域防災力を高めるため、地域住民による自主防災組織との連携強化や活動の充実を図ります。
- ③ 交流人口の拡大に向けた体制強化 交流人口の拡大に向けて、「周南こどもゆめまつり」や「くまげ鶴の里ウオーク大会」等既存のイベントの見直し・充実を図りながら、新たな取り組みを始めるための 組織づくりを市民協働で進めます。
- ④ 青少年の社会参加の促進 次代を担う子どもたちが楽しみ遊べる体験型イベントである「周南こどもゆめまつり」の開催に向け、企画段階から中高生が実行委員として参画することにより、子ども たちの自主性を育むとともに、世代間交流を進めます。
- ⑤ 地域の実情に応じた生活交通体系の維持 八代地区等で運行しているコミュニティバス(高水便・須々万便)の利用促進を図り、地域住民の日常生活における移動手段の充実に努めます。

【行政経営への取組み】

業務のマニュアル化を進めるとともに、風通しのよい職場づくりを推進することで、効果的効率的に業務を遂行します。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(地域政策担当)

- ・熊毛総合支所を熊毛地域の行政サービス拠点、防災拠点として位置付け、利便性を高め、安全で安心な地域づくりを進めます。
- ・ゆめプラザ熊毛を地域活動の交流拠点として位置付け、福祉や子育て、コミュニティ活動等を支援し利用率の向上に努めます。
- (教育委員会熊毛総合出張所)
- 教育部所管業務に係る事務手続きや相談業務を行うことで、市民サービスの利便性向上に努めます。
- 3 課の経営資源
- (1) 課の体制

□ 職員数 7.55 人 うち 正職員 6.35 人 · 任用職員 1.2 人 □ 人件費 □ 正職員 46,165 千円 □ 任用職員 4,799 千円	職員数 7.55 人 うち 正職員 6.35 人 会計年度 1.2 人 人件費 正職員 46.165 千円 会計年度
---	--

(2) 事業規模

※R5職員平均給与(7,270 千円)ベース

※予算計上額

歳入予算額 39,784 千円

歳出予算額 122.999 千円

(正職員人件費を除く)

担当予算事業数

3 事業

4 課の中期目標(優先順) 第3次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果(最終目標)
1	8 行政経営 1 持続可能な行政マネジメントの実践 2 公共施設等総合管理の推進	熊毛総合支所及びゆめプラザ熊毛(熊毛図書館除く)の空調設備の改修工事により省エネ化を 図るとともに、施設の計画的な修繕・更新による維持管理により長寿命化を図り、効率的な管 理運営に努めます。
2	5 防災・安全 1 災害に強いまちづくりの推進 1 防災力の強化・充実	自主防災組織の活動支援を行い、災害に強く、安心安全で住みよい地域社会の実現を目指し ます。
3	3 地域づくり・文化1 地域づくり活動の推進1 住民主体の地域づくりの促進	「周南こどもゆめまつり」「くまげ鶴の里ウオーク大会」等の地域を盛り上げるイベントの開催や地域の交流施設である高水ふれあいセンターの管理運営を通して、市民をはじめ各種団体との連携や活動を支援することで市民主体の地域づくりを目指します。
4	2 教育・こども3 生涯学習の充実2 青少年の健全育成	「周南こどもゆめまつり」の開催を通して、大人から子どもまでの地域の世代間交流を促進し、 青少年の地域活動への参画を促進します。
5	7 生活基盤 2 都市環境の整備 3 快適な住環境の整備	八代地区と高水・ゆめプラザ熊毛間、また須々万間で運行中のコミュニティバスの利用促進を 図り、地域住民の日常生活における移動手段の充実に努めます。
6	8 行政経営 1 持続可能な行政マネジメントの実践 1 機能的な組織体制と人材育成	教育委員会総合出張所において教育部所管業務に係る事務手続きや相談業務を行うことで、 市民サービスの向上に努めます。